

使用者の声

「殺線虫剤 ネマトリンエース粒剤」の使用感について、インタビュー！
生産者様の声を紹介します。



石原

殺線虫剤

ネマトリンエース
粒剤

®は登録商標

【きゅうり】 群馬県 中村さん

**線虫への効果が高いだけでなく、
粒剤タイプで簡単に撒けることも
女性としてはありがたい。**

**1年目は勝手がわからず線虫被害に遭うも、
使い方を見直して確かな効果を実感。**

群馬県館林市で13aのハウスできゅうりを栽培している中村さんは、5年前、きゅうりの専業農家だったお父様が急逝したことをきっかけに当時勤めていた職場を辞め、跡を継ぐ形で就農しました。「子どもの頃から父の仕事を見ていたので分かっているつもりでしたが、実際にやってみると体力的にすごく大変で、分からないことも多く勉強の日々でした」と当時の苦労を振り返ります。

「就農1年目に線虫対策として、父がずっと使っていたネマトリンエース粒剤を散布してみました。しかし初めての散布作業で、正しい使い方がわかっていなかったためうまく撒けず、線虫被害を出してしまいました。それまで元気に茂っていたきゅうりの葉が、キノコのカサのように垂れ下がり萎れていったので、ハウスの中がお化け屋敷のようになり本当に驚きました。最終的に、被害に遭った株を抜かなくてはならず、収量に影響が出ました」。その後は一度ネマトリンエース粒剤を使うのをやめ、他の線虫防除剤を使ったそうですが、ある思いから再びネマトリンエース粒剤を使い始めたそうです。「やはり父がずっと信頼して使い続けていたという安心感があったので、また使ってみることにしました。正しく散布したら線虫被害は出なくなり、収量も安定しています。今では『定植前には必ず使うもの』という意識で使っています」。



*剣は合成です

**体力面での負担を軽くする工夫をしながら、
誰もが続けられる農業を目指す。**

「農業は力仕事が多いので、女性にとっては厳しい面もあります。体力的な負担を軽減するために、箱詰めしたきゅうりは手で持ち上げるのではなく、台車を使って軽トラックまで運ぶこととし、ハウス内の作業で使うカートもアルミ製の軽いものに替えました」と、工夫して栽培に取り組んでいる中村さんは、作業面でもネマトリンエース粒剤の良さを実感しているといいます。「線虫防除は土壌くん蒸剤を使う方法もありますが、散布には専用の機械が必要で大変という話も聞いています。一方、ネマトリンエースだったら粒剤タイプなので簡単に撒けてとても助かっています」。

中村さんが工夫を重ね続けるのは、自分のためだけではありません。「今は体力がある男性でも、いずれ高齢になっていくと、体力的な問題に直面することがあるかと思います。その時に、私たちの経験や工夫をお伝えすることで、長く農業を続けられるようお役に立てたらうれしいです」。女性ならではの目線で農業の在り方を変えていく中村さんの挑戦は、これからも続きます。

※取材時(2025年7月)における個人の感想をもとに作成しています。

●使用前にラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。



Local Insight, Global Impact

石原バイオサイエンス株式会社

〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号



「使用者の声」は
webでもご覧
いただけます